

愛媛県食品ロス削減推進計画の 達成状況報告



愛媛県循環型社会推進課

1 愛媛県食品ロス削減推進計画

1

食品ロス削減推進法及び国の基本方針に基づき、
「**愛媛県食品ロス削減推進計画**」を令和3年3月に策定。

- 計画期間：令和3～7年度（2021～2025年度）の5年間
⇒ **今年度が最終年度であるため、点検・評価を実施**



《 計画の進行管理 》

Plan

- ・ 食品ロス削減推進計画の策定
- ・ 取組方針や事業内容の決定

Do

- ・ 施策の実施
- ・ 各主体の取組
(県民、事業者、フードバンク活動団体、関係団体、行政等)

Action

- ・ 点検による事業展開の見直し
- ・ 次期計画等への反映

Check

- ・ 進捗状況の把握・点検（成果指標）
- ・ えひめ循環型社会推進計画評価委員会への報告、意見等聴取

2 目標の進捗状況（推進目標・長期目標）

(1) 計画期間（2021～2025年度）における推進目標

2025年度までに、2020年度比で食品ロス量の10%削減（5.1→4.6万トン）

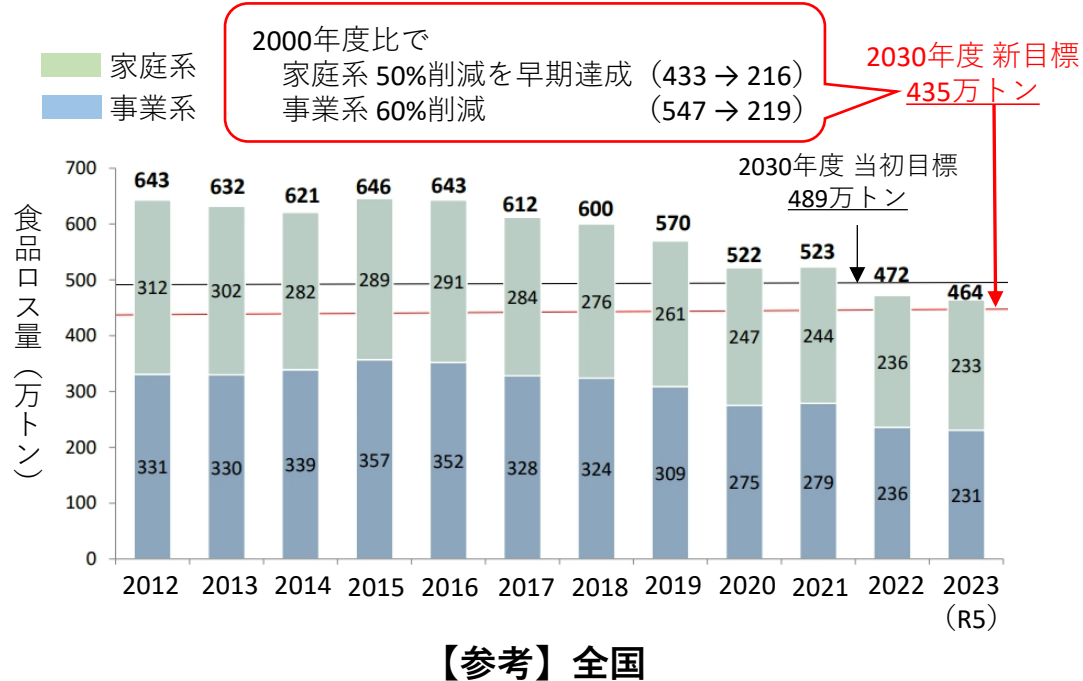
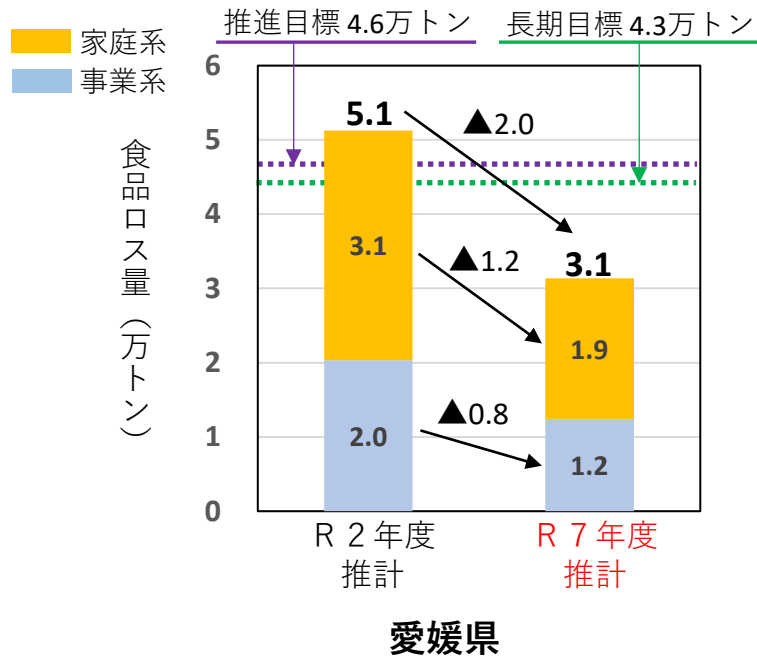
(2) 長期的（2000～2030年度）な目標

2030年度までに、2000年度比で食品ロス量の半減以上（8.6→4.3万トン）



2025年度：3.1万トンに削減

推進目標・長期目標ともに達成



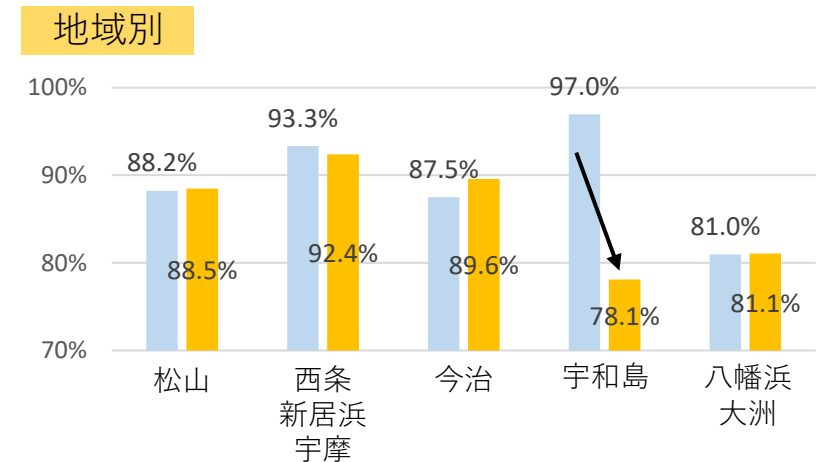
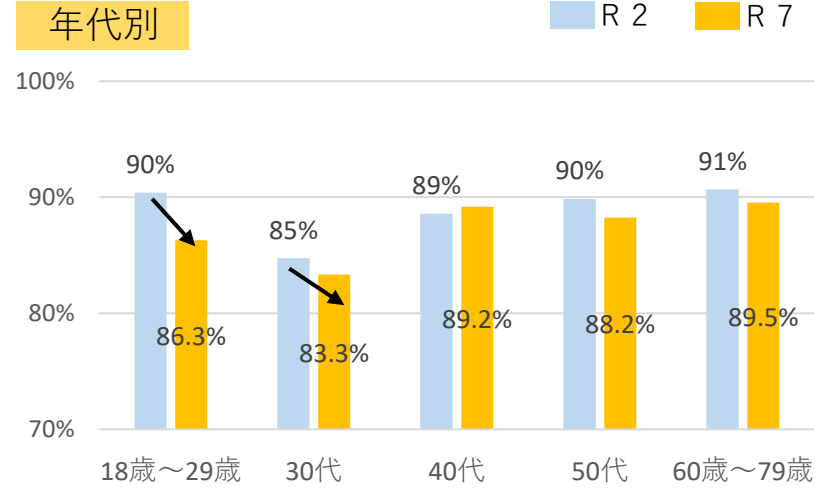
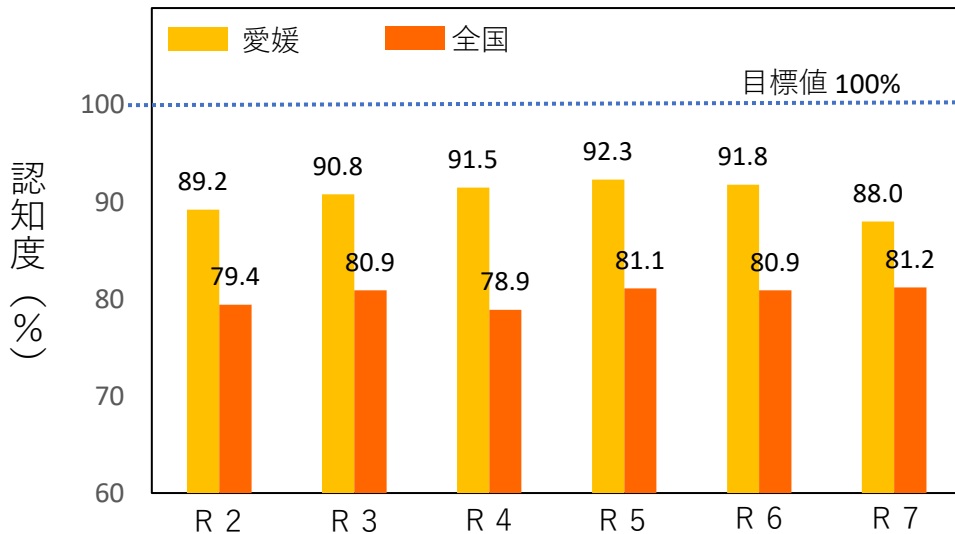
2 目標の進捗状況（成果指標）

目標・指標	基準値（R2）	目標値	直近の実績（R7）	進捗状況
食品ロス問題の認知度	89%	100%	88%	【未達成】 当たり前化したことによる認知度の頭打ち
「3010運動」の認知度	23%	100%	25%	【未達成】 コロナ以降の宴会の機会の減少
フードバンク活動の認知度	28%	100%	61%	【未達成】 意義や必要性の情報発信不足
食品ロス削減に積極的に取り組む 県民の割合	45%	70%	42%	【未達成】 食ロス削減の行動の当たり前化 →積極的な取り組みとして認識され なくなった
1人1日あたりの食品ロス発生量	103 g	92.7 g	67 g	【達成】
食品産業全体の食品ロス率 （食品ロス量／食品廃棄物量）	18.4%	16.5%	22.0%	【未達成】 食品卸売業・小売業における 食品ロス率の増加
食べきり宣言事業所数	505事業所	700事業所	693店舗	【ほぼ達成】
えひめの食べきり推進店数	138店舗	200店舗	263店舗	【達成】
県・市町の災害備蓄食料の活用率	99%	100%	99.6%	【ほぼ達成】

2 目標の進捗状況（各成果指標について）

目標・指標	基準値（R 2）	目標値	直近の実績（R 7）	進捗状況
食品ロス問題の認知度	89%	100%	88%	【未達成】 当たり前化したことによる認知度の頭打ち

あなたは「食品ロス」が問題になっていることを知っていますか？（よく知っている／ある程度知っている）



- ・ 目標は未達成であるが、全国よりも食品ロス問題の認知度が高い
- ・ 年代別では30代以下の認知度がやや低く、地域別では南予の認知度が低い傾向

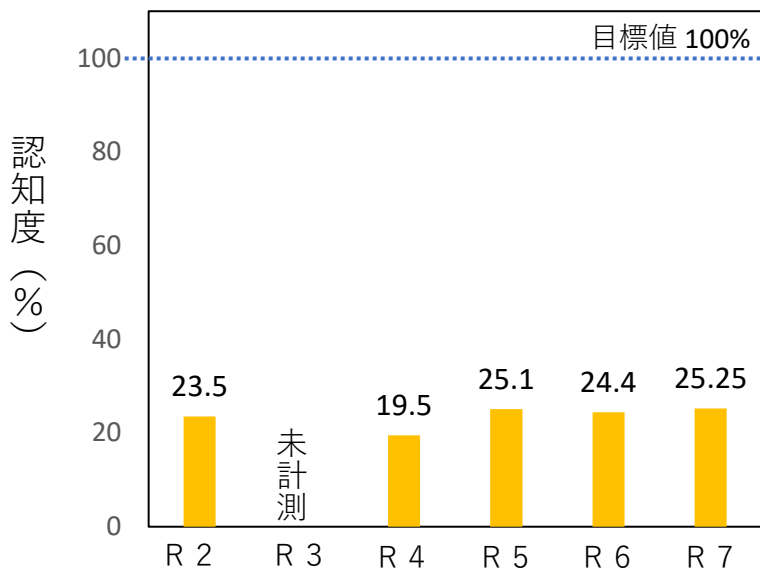
2 目標の進捗状況（成果指標）

目標・指標	基準値（R 2）	目標値	直近の実績（R 7）	進捗状況
「3010運動」の認知度	23%	100%	25%	【未達成】 コロナ以降の宴会の機会の減少

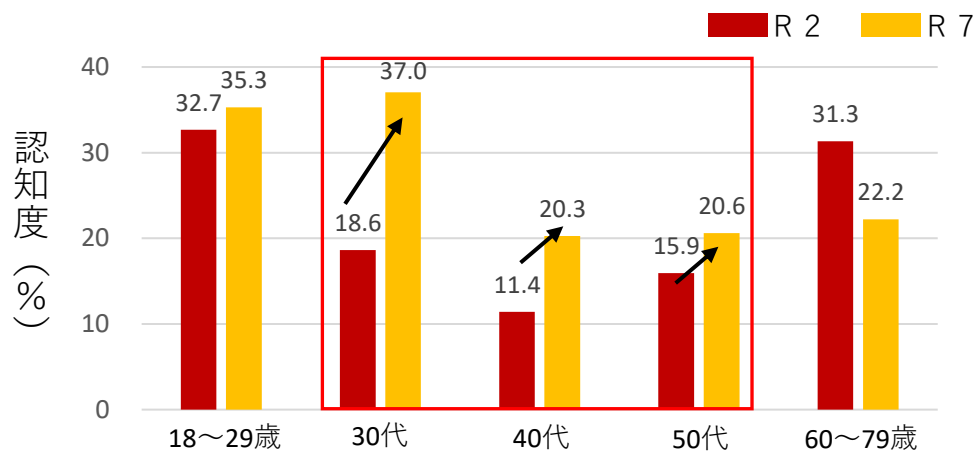
あなたは、「3010運動」を知っていますか。
（よく知っている／ある程度知っている）



「おいしい食べきりキャンペーン（12月・1月）」
にてチラシを配布し街頭啓発（松山市と共同実施）



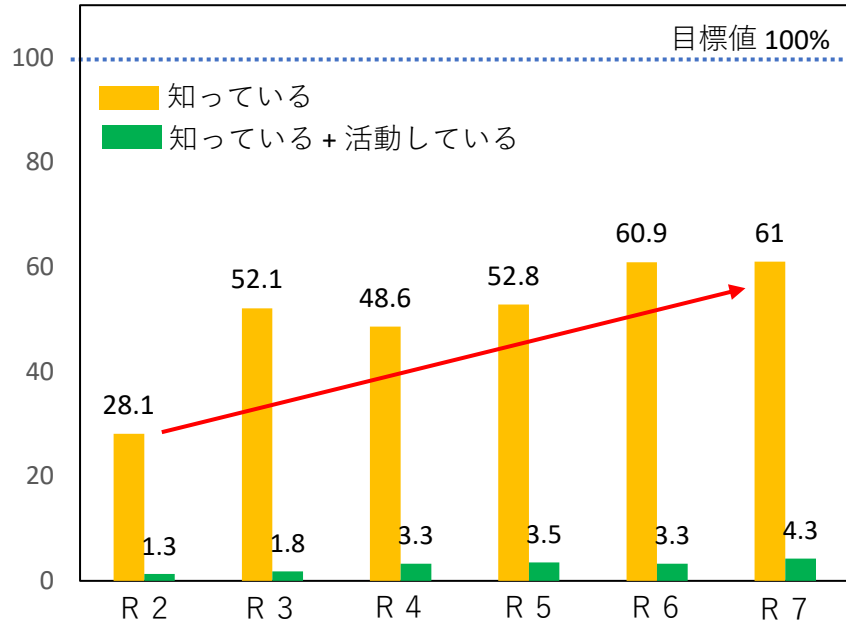
認知度は横ばいであるが、年代別
では「働き世代（30～50代）」の
認知度は上昇



2 目標の進捗状況（成果指標）

目標・指標	基準値（R 2）	目標値	直近の実績（R 7）	進捗状況
フードバンク活動の認知度	28%	100%	61%	【未達成】 意義や必要性の情報発信不足

あなたは、「フードバンク活動」を知っていますか。
（よく知っている／ある程度知っている）

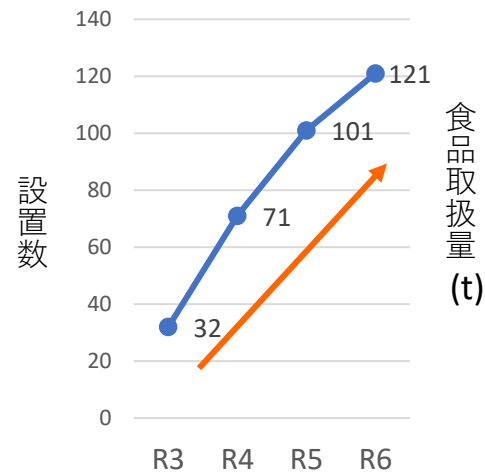


【県の取組】

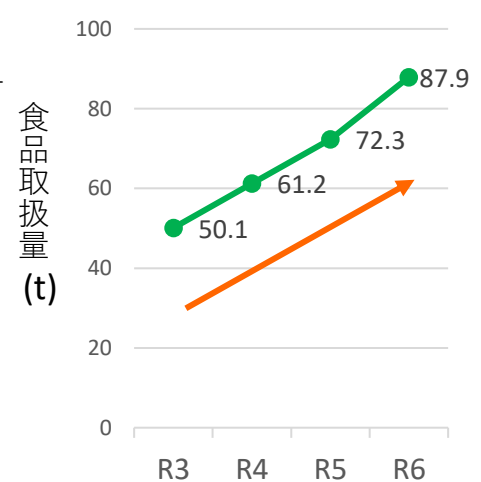
eワーク愛媛と連携し、

- ・フードドライブ常設置店舗の増加
- ・フードバンクへの食品提供事業者の拡大

常設フードドライブ設置数



フードバンク活動による食品取扱量

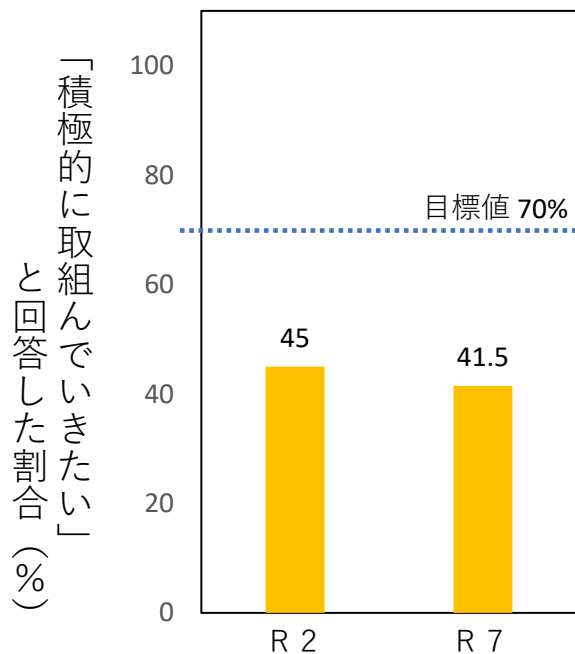


- ・フードバンク活動の拡大により認知度は増
- ・今後は「活動している割合」の増加に向けて力を入れる必要あり

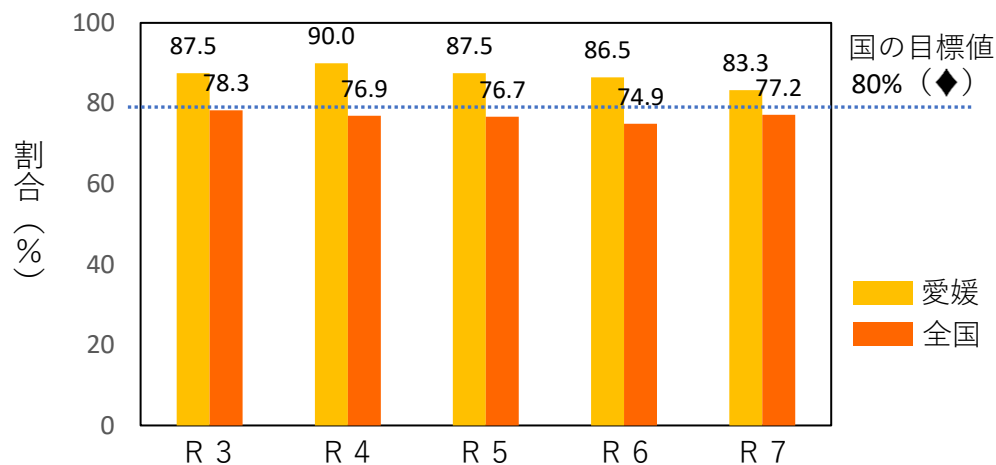
2 目標の進捗状況（成果指標）

目標・指標	基準値（R 2）	目標値	直近の実績（R 7）	進捗状況
食品ロス削減に積極的に取り組む県民の割合	45%	70%	42%	【未達成】 食品ロス削減の行動の当たり前化 →積極的な取組みとして認識されなくなった

あなたは、「食品ロス」を減らすために、今後どのように取り組もうと思いますか。



食品ロス問題を認知して削減に取り組む県民（消費者）の割合



※全国：消費者庁「消費生活意識調査」

◆「第2次食品ロスの削減の推進に関する基本的な方針」の目標値

食品ロス削減の行動の当たり前化

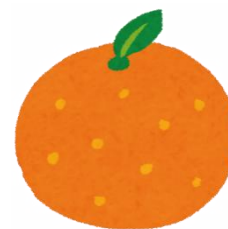
2 目標の進捗状況（成果指標）

目標・指標	基準値（R 2）	目標値	直近の実績（R 7）	進捗状況
1人1日あたりの食品ロス発生量	103 g	92.7 g	67 g	【達成】

県民一人あたりの食品ロス量

	R 2 推計	R 7 推計
1日	約103 g	約67 g
年間	約38 kg	約24 kg

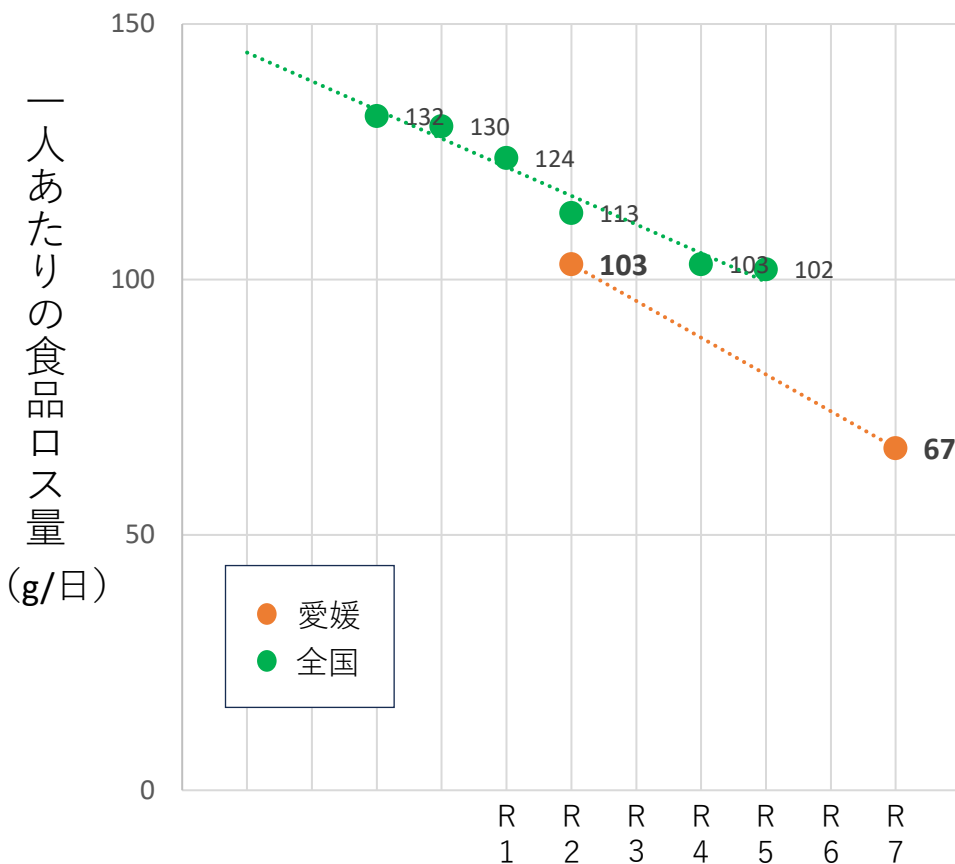
食べ物で例えると・・・



温州みかん
1個分



たまご
1個分

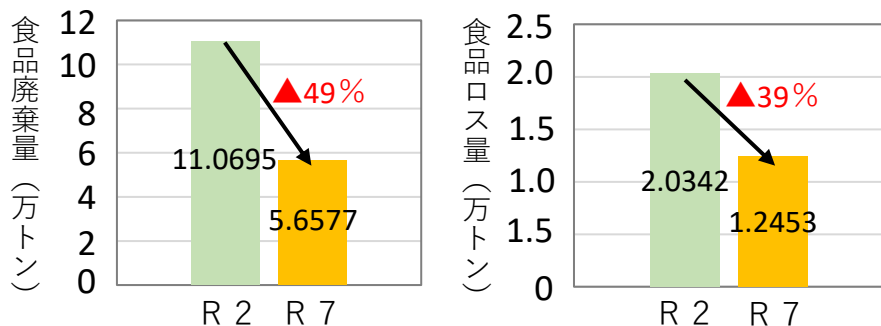


- ・ 103 g → 67 g (▲35%) に減少 (目標▲10%)
- ・ 全国と同様の減少傾向

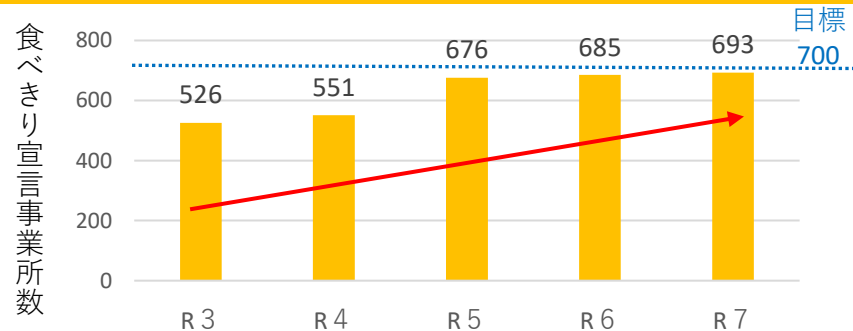
2 目標の進捗状況（成果指標）

目標・指標	基準値（R 2）	目標値	直近の実績（R 7）	進捗状況
食品産業全体の食品ロス率 （食品ロス量／食品廃棄物量）	18.4%	16.5%	22.0%	【未達成】 食品卸売業・小売業における 食品ロス率の増加
食べきり宣言事業所数	505事業所	700事業所	693店舗	【ほぼ達成】
えひめの食べきり推進店舗数	138店舗	200店舗	263店舗	【達成】
県・市町の災害備蓄食料の活用率	99%	100%	99.6%	【ほぼ達成】

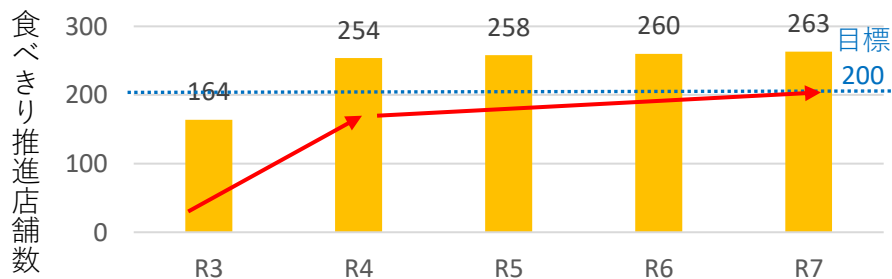
食品産業全体の食品ロス率



食べきり宣言事業所数



えひめの食べきり推進店舗数



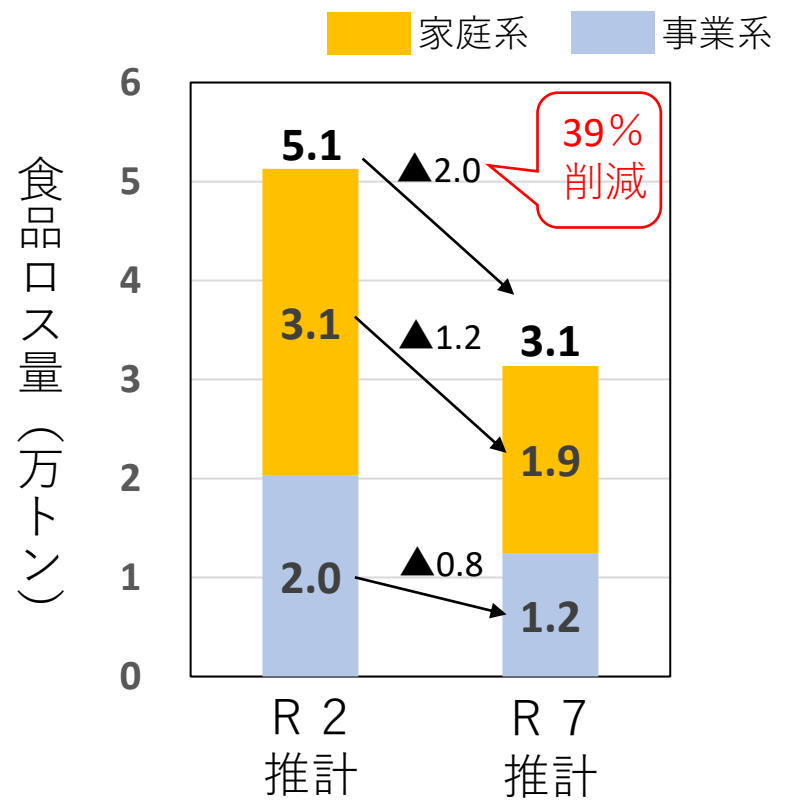
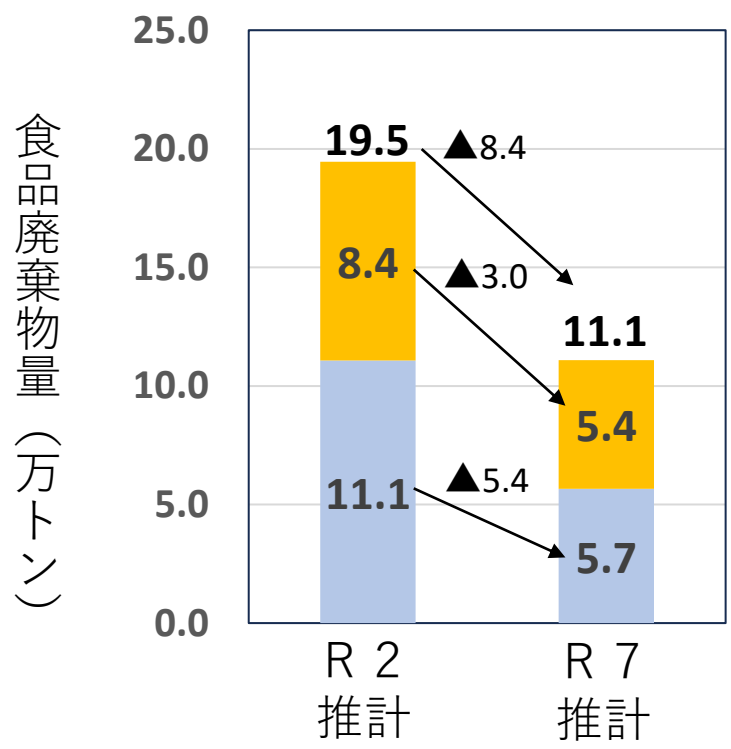
県・市町の災害備蓄食料の活用率

R 2 : 98.8%
 （内子町：20%・鬼北町：95%・その他市町：100%）

R 7 : 99.6%
 （松野町：0%・その他市町：100%）

3 愛媛県における食品ロス等の発生状況①

食品廃棄物量と食品ロス量

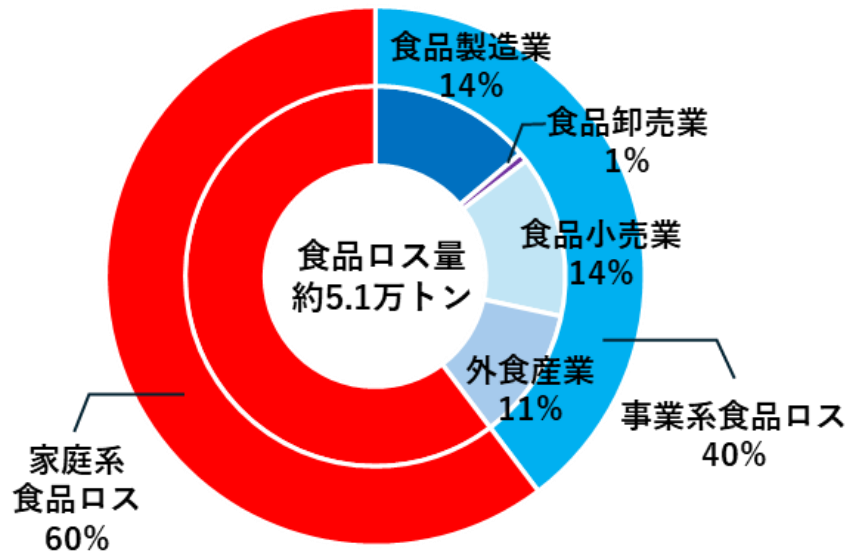


食品ロス率	愛媛 (R 2)	愛媛 (R 7)	【参考】国 (R 5)
家庭系食品ロス	36.9%	34.8%	34.4%
事業系食品ロス	18.4%	22.0%	16.2%
合計	26.4%	28.3%	24.2%

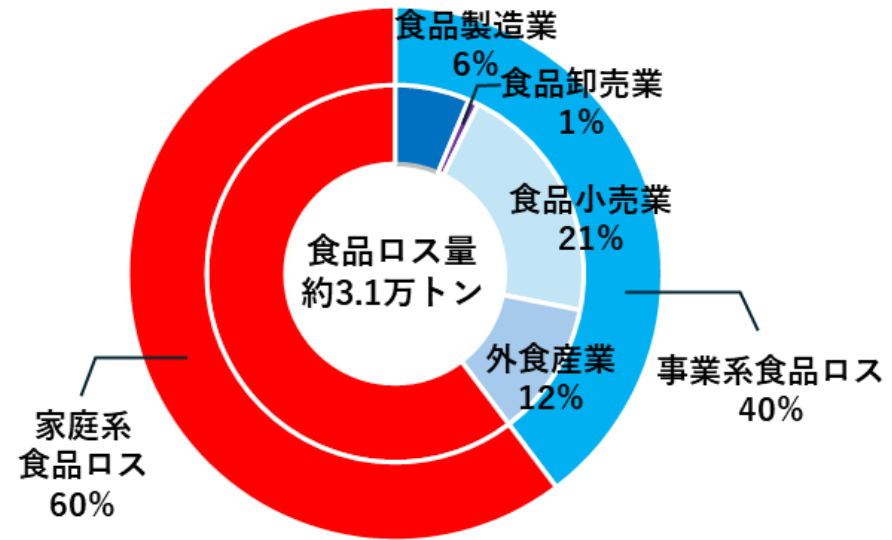
3 愛媛県における食品ロス等の発生状況②

食品ロス量と業種別内訳

R 2 推計

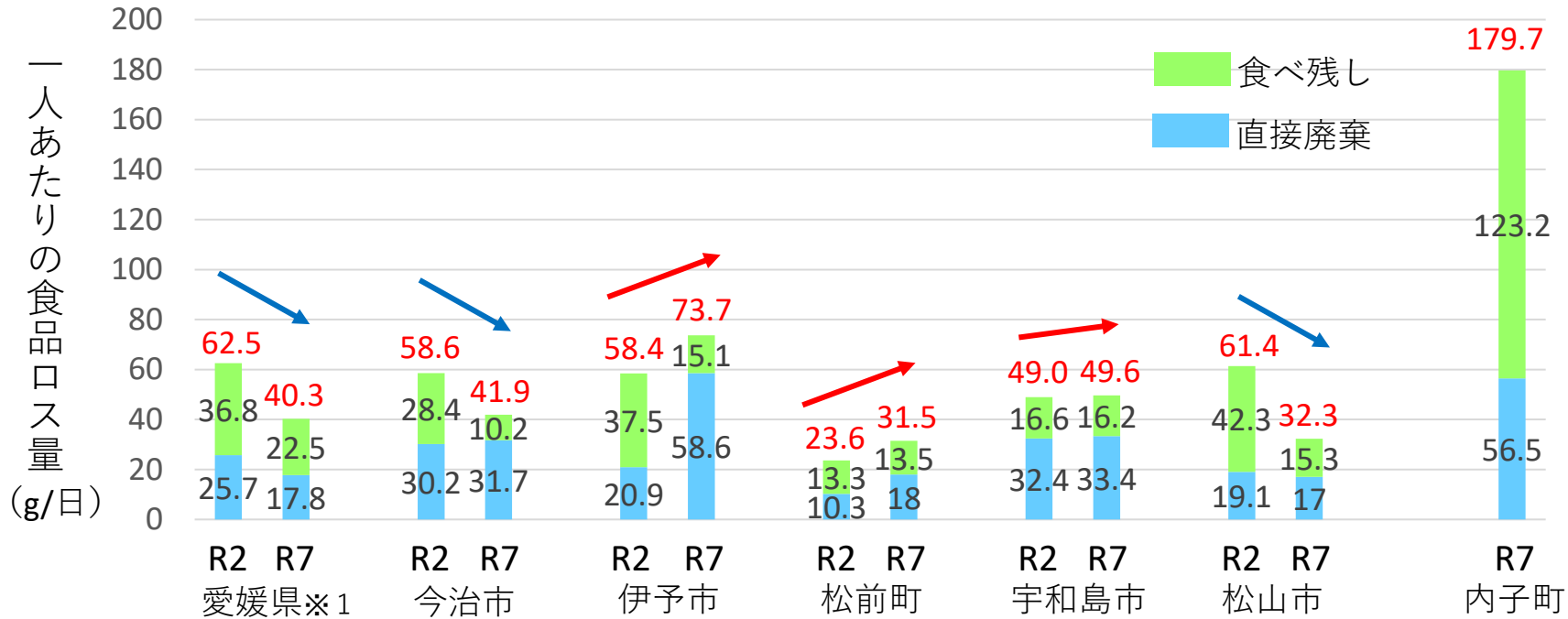


R 7 推計



- ・ 組成は R 2 と変わらず家庭系60%・事業系40%
- ・ 事業系のうち食品製造業が減少し、小売業の割合が増加

4 家庭系食品ロス実態調査結果 (R7) ①

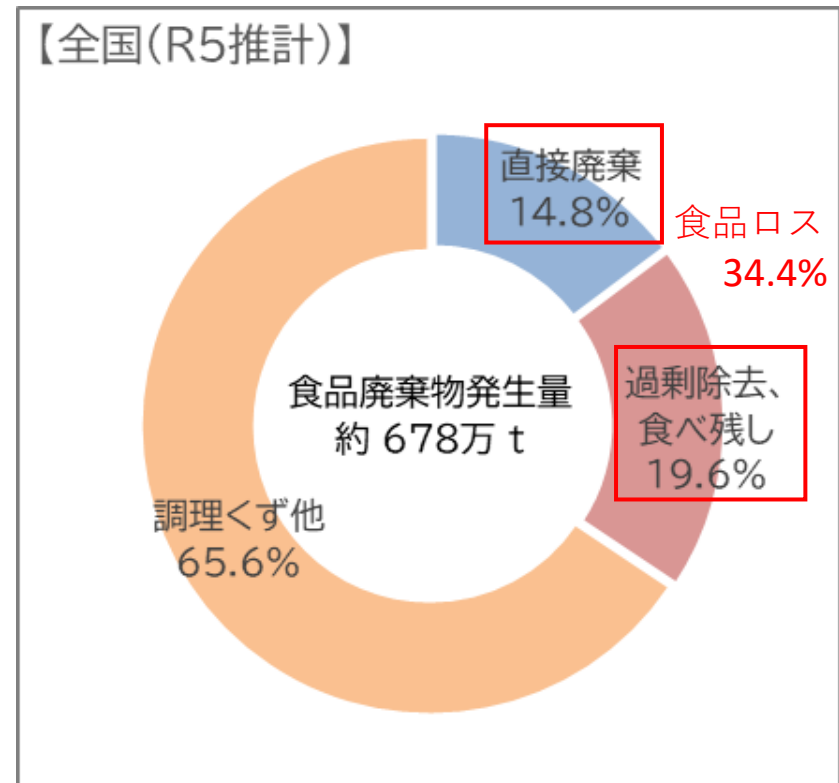
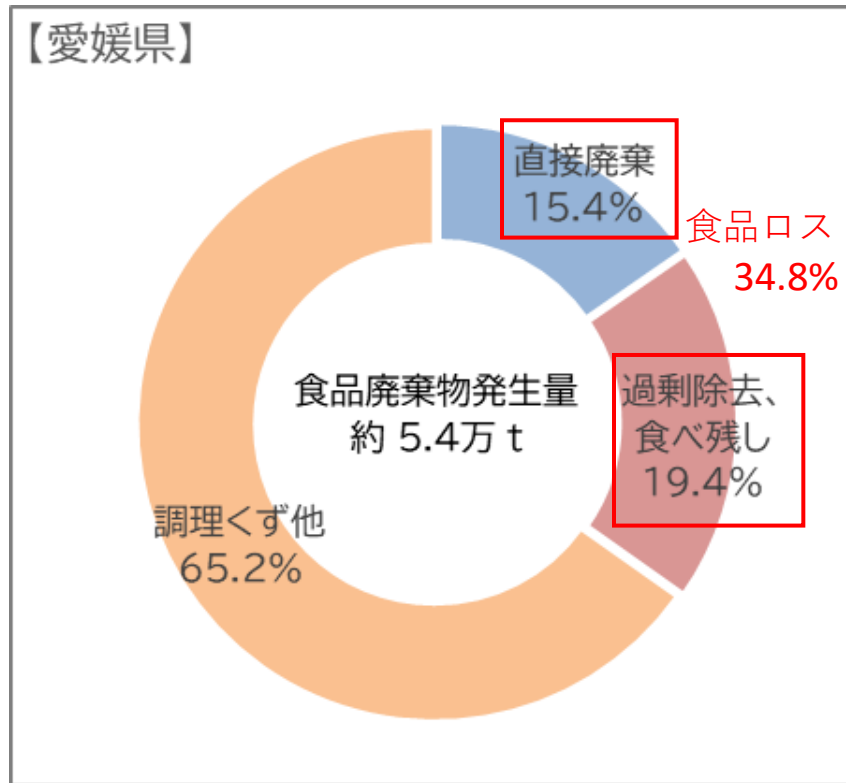


食品ロス率 (R7) ※2	愛媛県※1	今治市	伊予市	松前町	宇和島市	松山市	内子町
	34.8% (▲2.1)	38.2% (▲1.0)	48.6% (+7.4)	40.3% (+19.4)	31.1% (+3.9)	31.9% (▲6.0)	79.0% (-)

※1 県全体は、松山市 (R6) ・内子町 (R3) の独自調査データを加味し推計
 ※2 食品廃棄物に占める食品ロスの割合。() 内の数値はR 2年度調査比増減

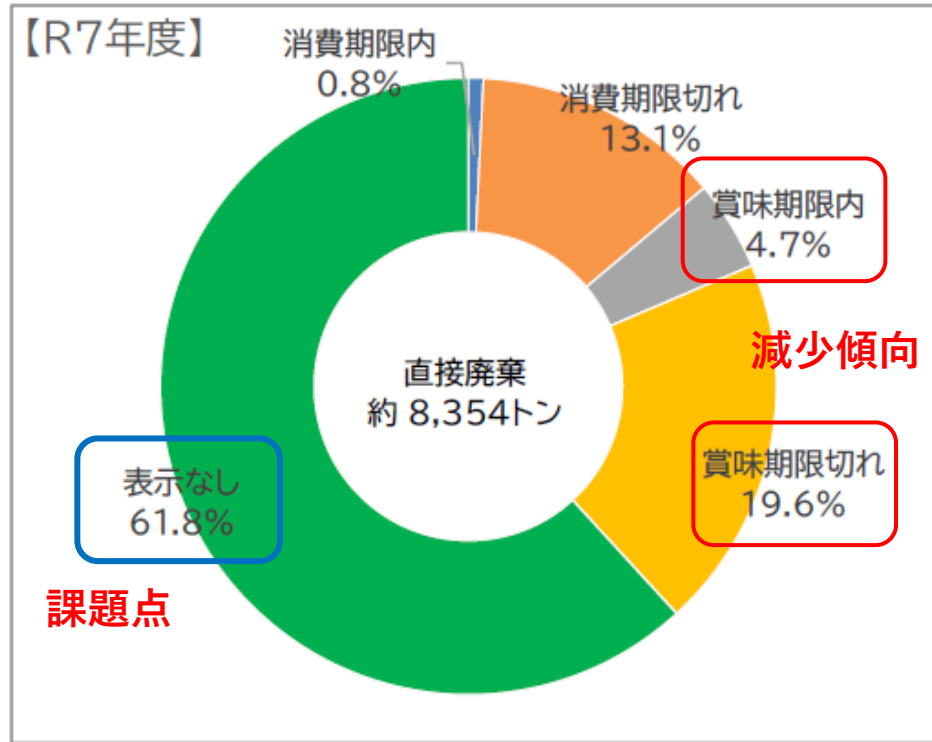
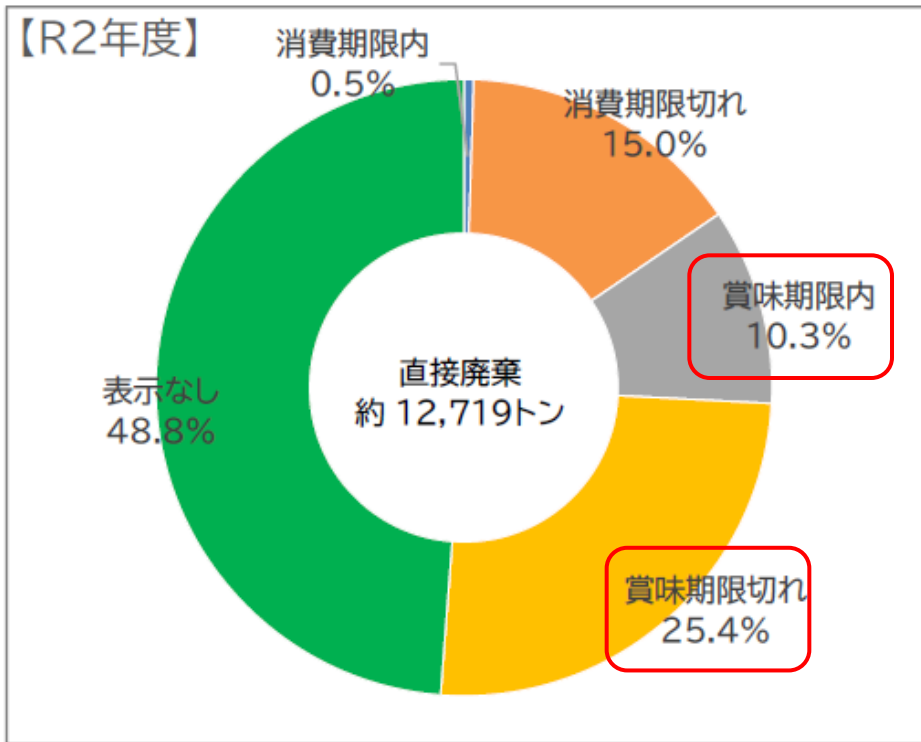
- ・ 1人あたりの食品ロス量は、松山市・今治市は減少傾向
- ・ 松山市・今治市は「食べ残し」が大幅に減少、増加した市町は「直接廃棄」が増加傾向

家庭系食品廃棄物の内訳（愛媛県と全国の比較）



食品廃棄物の内訳、食品ロス率ともに全国と類似の傾向

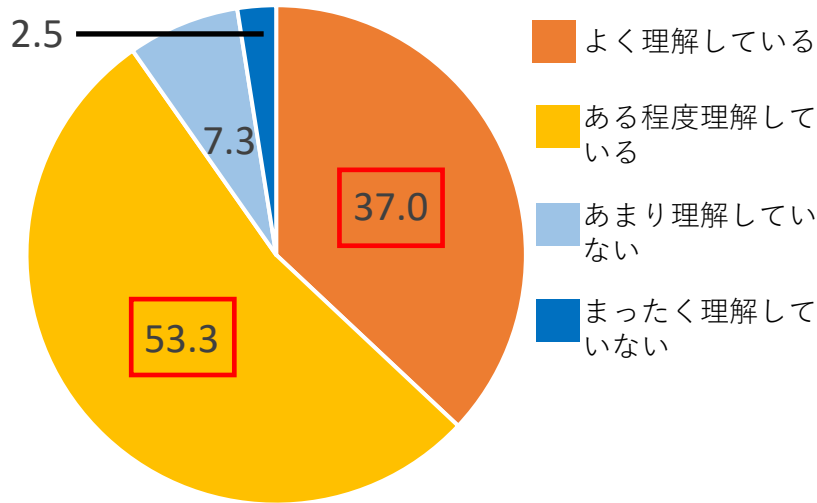
「直接廃棄」の内訳



- ・ 「賞味期限内」や「賞味期限切れ」の割合減少
- ・ 野菜など「表示なし」の直接廃棄が増加 【今後の課題】

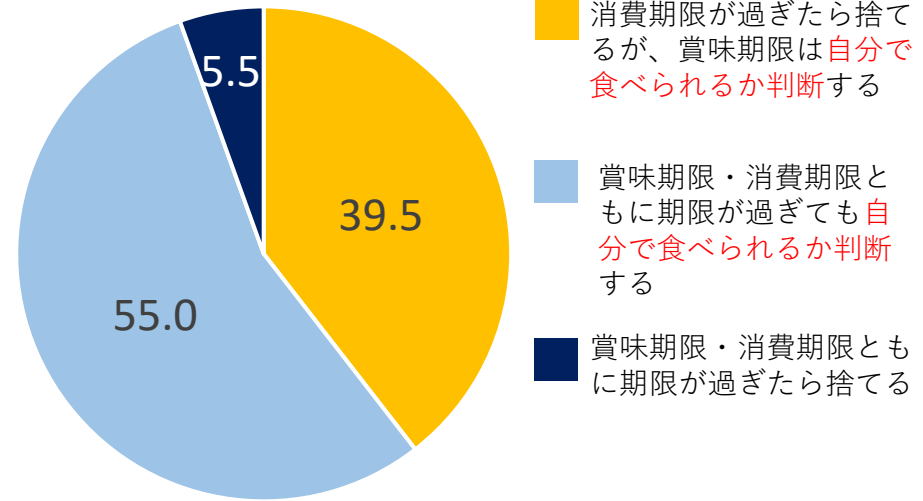
賞味期限・消費期限の理解度

あなたは賞味期限と消費期限の違いを正しく理解していますか？



期限切れ食品に対する行動

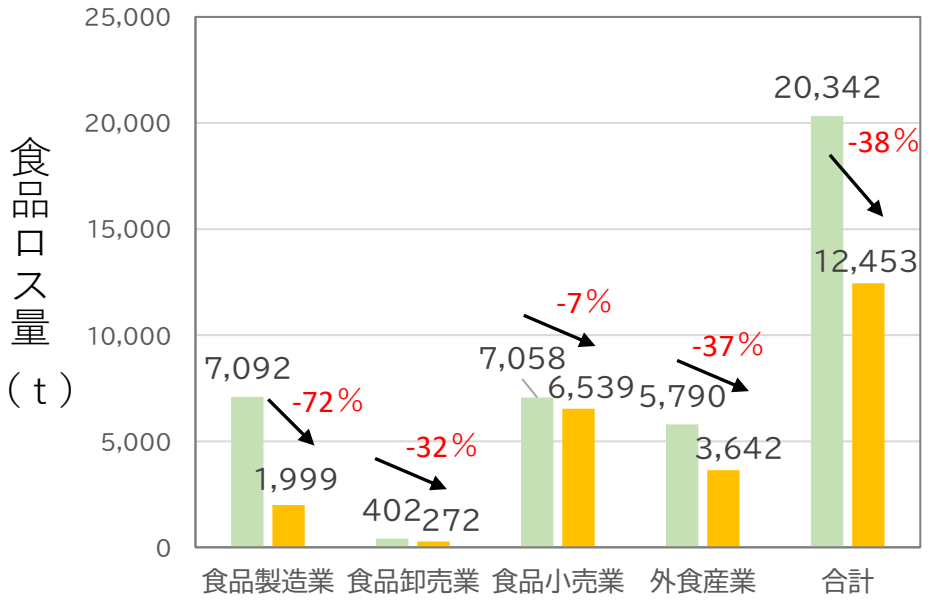
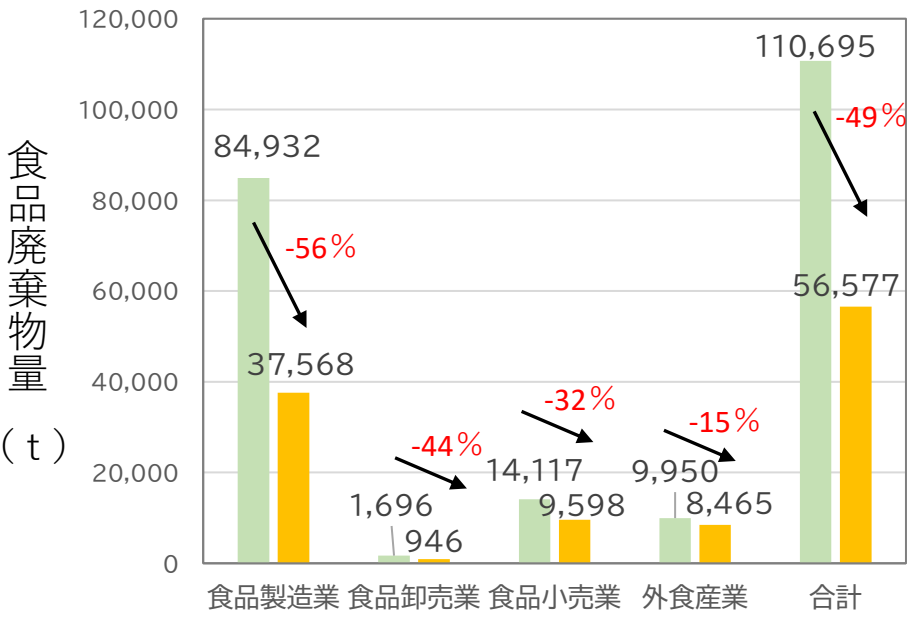
あなたは賞味期限や消費期限が過ぎた食品は捨ててしまいますか？



- 賞味期限と消費期限の違いを理解している県民が90.3%
- 期限を過ぎても自己判断して食べる県民の割合が高い

食品廃棄物量と食品ロス量

R2 R7

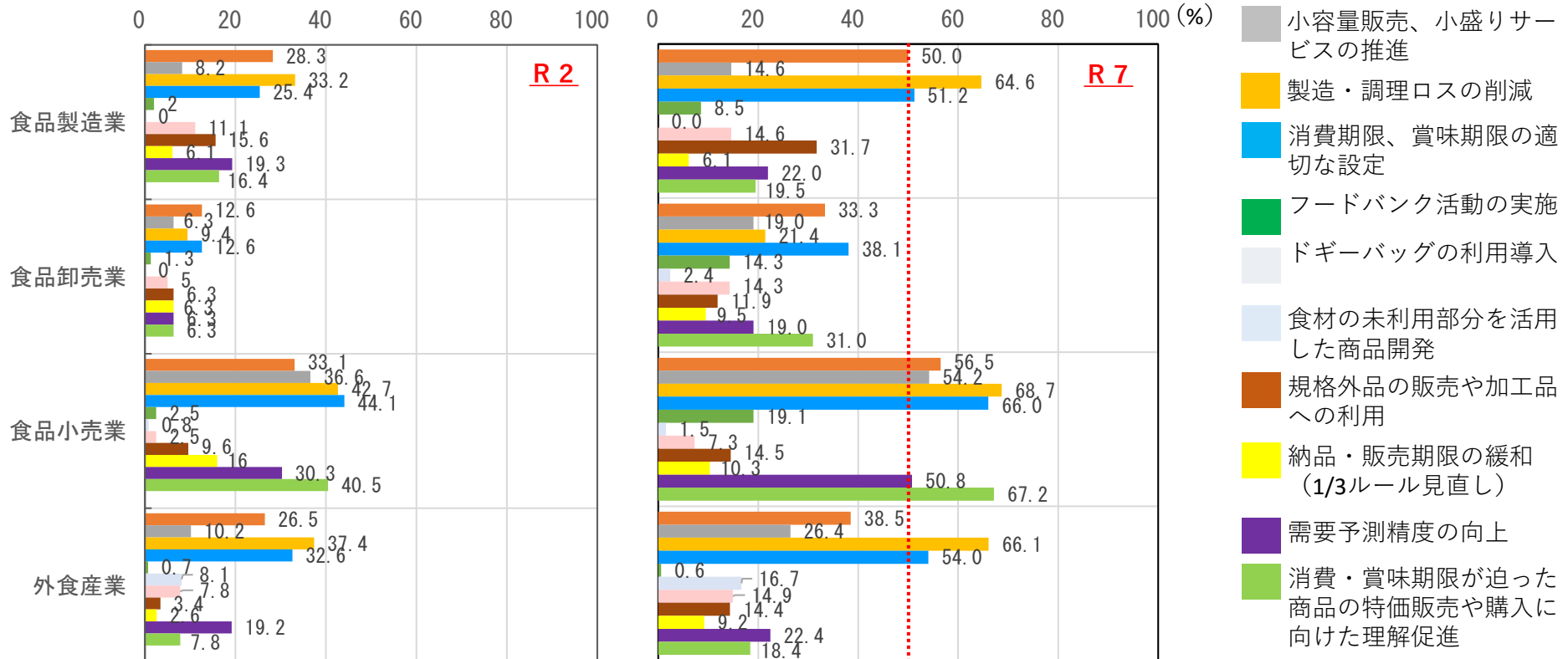


食品ロス率 (R2→R7)	5.3% (▲3.1)	28.8% (+5.1)	68.1% (+18.1)	43.0% (▲15.2)	22.0% (+3.6)
---------------	-------------	--------------	---------------	---------------	--------------

- 食品廃棄物量、食品ロス量ともに減少
- 食品ロス率は業種によって増減あり

食品ロス削減のために取り組んでいること

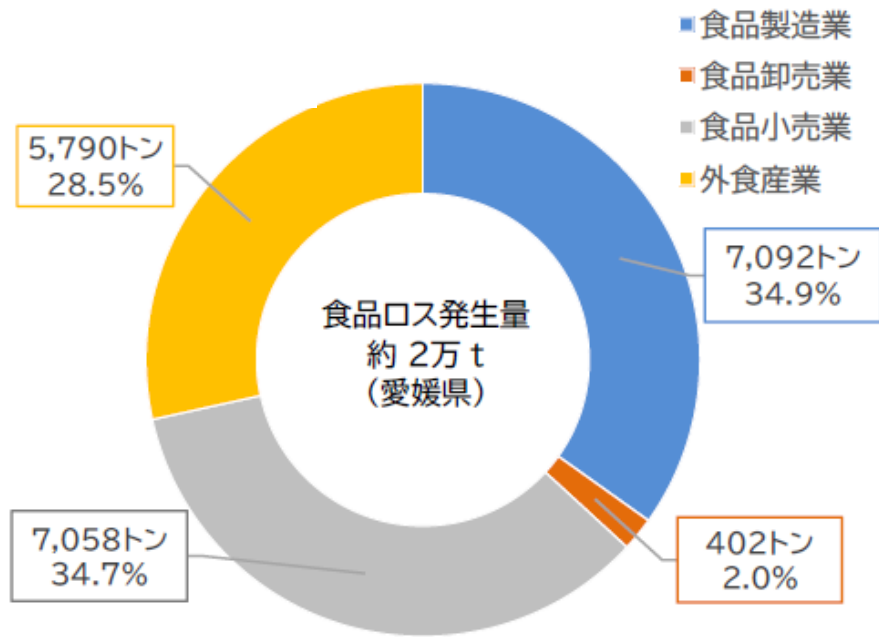
食品ロス・食品廃棄物の発生抑制に向けた取組みについて、貴事業所で既に取り組んでいるものがありますか。



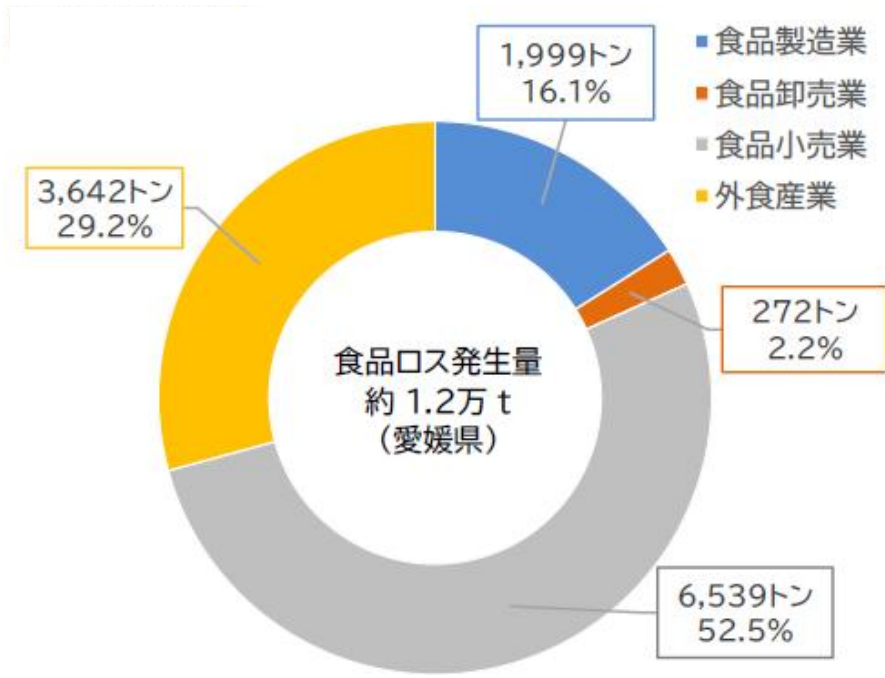
食品業界全体で取り組んでいることの比率が増加
 → 業界全体で食品ロス削減に向けた取組が活発化

食品ロス量の業種別内訳

R2 推計



R7 推計



- ・ 食品製造業の食品ロスが大幅に減少
- ・ 食品小売業、外食産業の比率が高い 【今後の課題】

第6次えひめ循環型社会推進計画への統合

次期計画は、廃棄物処理、資源リサイクル、環境保全等と関連する複数の個別計画を含む「廃棄物行政の総合的な指針」である「第6次えひめ循環型社会推進計画（令和8年度策定予定）」へ統合。

目標・指標についてはこれまでの取組の成果等を踏まえ検討予定。

(参考) えひめ循環型社会推進計画の変遷

第一次計画(H12～16)

第二次計画(H17～22)

第三次計画(H23～27)

第四次計画(H28～R2)

第五次計画(R3～R7)

第六次計画(R8～R12)

【第六次計画の内容】

- ①えひめ循環型社会推進計画
- ②愛媛県廃棄物処理計画（第3次計画から統合）
- ③えひめプラスチック資源循環戦略（第5次計画から統合）
- ④愛媛県バイオマス活用推進計画（第5次計画から統合）
- ⑤愛媛県食品ロス削減推進計画（★第6次計画から統合予定）